

令和7年6月10日

報道機関各位

熊本大学

米国・マンスフィールド財団「日米次世代パブリック・インテレクチュアル・ネットワーク・プログラム」ジャパン・スタディ・トリップの一部を熊本で開催

熊本大学では米国のモーリン・アンド・マンスフィールド財団（以下「マンスフィールド財団」）との協定に基づき連携プロジェクトを進めており、今回その一環としてマンスフィールド財団が実施している「日米次世代パブリック・インテレクチュアル・ネットワーク・プログラム（U.S.-Japan Network for the Future）」ジャパン・スタディ・トリップの参加メンバーとの意見交換会等を下記の日程で実施いたします。

取材ご希望の方は事前に下記の問い合わせ先にお申し込みいただきますようお願いいたします。

記

① 意見交換会

【開催日】 令和7年6月12日（木）

【時間】 12:10（予定）～15:30

※12:10～13:30の間、取材可能です。

【場所】 熊本大学黒髪北キャンパス くすの木会館レセプションホール

【スケジュール】 （1）12:10～12:50

歓迎の挨拶および参加者紹介

（2）13:00～13:30

若林秀樹 熊本大学半導体・デジタル研究教育機構 卓越教授による
セミナー

「ジオテク視点から見た半導体産業と九州：日本の半導体復活のための
最大にして最後のチャンス」

（3）13:30～15:30

意見交換会（非公開）

テーマ：地方再生と経済発展

1）九州・熊本の経済状況について

2）サプライチェーンについて

3）熊本の水資源

4）地方再生：地域を拓くためのアプローチ

参加者：本学教職員、自治体・企業関係者ほか

【備考】 原則英語で行います。必要に応じて本学職員等がサポートいたします。

当日は日英併記のプログラム、学長挨拶文等を配布する予定です。

② 本学くまもと水循環・減災研究教育センター教員との人吉豪雨災害からの復興状況等視察

【開催日】令和7年6月14日（土）

【時間】11:00～15:00頃

※天候及び交通状況等により変更する場合がございます。

【場所】球磨村、人吉市

【スケジュール】（1）くま村湯の駅、球磨川第二橋梁、相良橋などを視察（本学教員が解説）

（2）本学教員から被害と復興状況についての説明

（会場：肥後銀行人吉支店 会議室）

【備考】説明は原則英語で行います。

必要に応じてマンスフィールド財団スタッフ、本学職員がサポートいたします。

参 考

マンスフィールド財団について

マンスフィールド財団は「アジアの国々や人々と米国との間の理解を深め、強力を促進する」ために1983年に設立された、アメリカを拠点とする非営利団体です。ワシントンDC、モンタナ州ミズーラ（モンタナ大学内）、東京に事務所があります。

主な活動

○ 次世代リーダーの育成

- ・ フェローシッププログラム—米国連邦政府職員を日本の省庁等に派遣
- ・ 日米次世代パブリック・インテレクチュアル・ネットワーク・プログラム—日米の専門家が集まりネットワーク構築、政策提言を行う。

このほか様々なプログラムを提供しています。

○ 政府提言・情報提供

- ・ 東アジア関係の重要問題についての会議開催
- ・ アジア太平洋地域の政策に関する問題についての研究、調査

熊本大学とマンスフィールド財団との連携プロジェクトについて

熊本大学はマンスフィールド財団と連携し、日米の次世代ネットワーク作りや、熊本から国際的に活躍する人材育成等のための活動を行っています。

（1）熊本大学内にマンスフィールド財団リエゾンオフィスを設置

- ・ 相互の情報発信等（活動内容については今後協議）

（2）協同プロジェクトの実施

- ・ 著作物（エッセイ等）の相互広報による広報促進
- ・ マンスフィールド財団関係者の本学訪問の協同支援
- ・ マンスフィールド財団フェロー等による連携講義の継続開催

（3）モンタナ大学との連携

- ・ モンタナ大学内マンスフィールドセンターを活用した学生等の相互交流

【お問い合わせ先】

熊本大学経営企画本部

国際事業戦略チーム（担当：吉野）

TEL：096-342-2101

Email：gji-kikaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp